

## 『二次障がいに向き合う』

～ 第二回. 当事者理解の新たな試み：逆 SST という手法について ～

一般財団法人

発達支援研究所 山本登志哉所長 渡辺忠温主席研究員

日にち：12月20日（月）

時間：15：30～（45分程予定）

【予告】第三回（最終回）2022年1月17日（月）15：30～

～ 二次障がいとしての引きこもり：当事者インタビューに学ぶ ～

アクセスジョブの  
ZOOM セミナー  
（全三回）

障がい者はその人自身の持っているもの（1次障がい）と社会が求める基準のズレに苦しみます。そのズレがうまく調整されれば、困難は緩和され、うまくいかなければ困難は深刻になっていきます。

積み重なる困難はその人の生きる力を失わせ、あるいは激しい怒りを蓄積もします。その結果引きこもりにつながったり、周囲との関係づくりにさらに難しさを加えて社会から差別・排除されるといった展開に至ることもあります。そこに2次障がいが生れます。

障がいによる心理的な苦しみは、ズレを乗り越えて共に生きる調整の失敗が生む2次障がいの結果です。だからその調整の仕方の工夫で2次障がいをどこまで減らせるのかが、障がい者の幸福と共生を考えるうえで最大の課題でしょう。なぜそれがこんなに難しいのか、どうやったらその困難を軽減できるのか。逆 SST という新しい当事者理解のしくみを紹介しつつ、この講座で一緒に考えてみたいと思います。

山本登志哉所長  
プロフィール

専門：文化発達心理学・法心理学（教育学博士：北京師範大学）（文学修士：京都大学）

職歴：奈良女子大学助手・共愛学園前橋国際大学教授・早稲田大学大学院教授・就学前知的障害児施設発達相談員ほか

著書：「Children and Money」（共編著）「文化とは何か、どこにあるのか」（単著）「ディスコミュニケーションの心理学」（共編著）他「生み出された物語」（共編著）等

専門：発達心理学・教育心理学（教育学博士：北京師範大学）（教育学修士：東京大学）

職歴：東京理科大学非常勤講師など

近著：「放課後等デイサービスサポートブック」（共編著）「良質な質的研究のための、かなり挑発的でとても実践的な本」（訳書）「子どもの自己主張をめぐる母親の育児上の悩みと不安－教育相談における家庭支援に向けた基礎的研究」（共著）等

渡辺忠温主席研究員  
プロフィール

## お問合せ

☎070-2248-7146 ✉s.fujita@kurazemi.co.jp

アクセスジョブ 担当：藤田

専用申込フォームからのお申込み（QRコード）

お申込み  
お問合せ

※12月17日（金）までにお申し込みください。

※参加申し込み後、担当者より URL をお送りさせていただきます。